



# 5月の園だより

令和元年 5月 1日

新緑の季節になりました。耳を澄ますと鳥たちの楽しそうな歌声が聞こえてきます。子どもたちは園生活にも慣れて好きな遊びを安心して楽しんでいます。連休明けは、ちょっとした節目で時々、不安定な気持ちになる子どももいますので表情やしぐさ・雰囲気から発する小さなサインも見逃さずに受け止め、安心して過ごせるようにしていきます。

## 歓迎遠足

日時：5月18日(土)  
場所：えぼしスポーツの里(大芝生広場)  
参加者：全園児とその保護者

## お知らせ

6月 7日(金)に歯科検診  
6月14日(金)に園児健康診断を行います。  
お休みされると、後日保護者の方に、直接病院で受診していただくこととなりますので、必ず出席されるようお願いいたします。

保育料の引き落とし日は、5月15日です。

## 今後の予定

6月8日(土) 園内研修

## ご意見・ご要望

4月は特にありませんでした。

## SAKURA COLUMN

♪幼児期の終わりまでに残したい10の姿♪

以前は「赤ちゃんは白紙で生まれてくるので、大人は何もできない赤ちゃんに教え込まなきゃいけない」と思われていました。しかし、赤ちゃん研究の進んだ現在では、「赤ちゃんは生まれた時に、既に様々な能力を備えている」ことがわかりました。その能力を使うか使わないかで、赤ちゃんは自ら選択し、将来必要と思われる神経回路を残し、いらぬ神経回路を捨てていくのだそうです。赤ちゃんを泣かせないようにと、泣く前に先回りして授乳したり、オムツを替えたりすると、確かに泣きませんが、だれかに助けを求める必要がないので、言葉を発しなくなるのだそうです。その赤ちゃんは「泣く」＝「意思を伝える」能力を必要ないものと判断して、「伝える」＝「話す」能力を捨ててきたのでしょうか。「赤ちゃん有能論」から考えると、教育・保育要領の「幼児期の終わりまでに育てたい10の姿」というより「残したい10の姿」ですね。(新宿せいがこども園 藤森先生講演より研修報告)

## 避難訓練

4月24日(水)に避難訓練を行いました。

## 【5月の予定】

月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4
6	7 英会話(月)	8	9 体育教室(月・雪)	10	11
13	14 みなとわくわく広場 太鼓指導(月)	15 誕生会	16 絵画教室(月) みなとわくわく広場	17	18 歓迎遠足 午後園内研修
20	21 みなとわくわく広場 交通安全教室(空) 英会話(月)	22 絵画教室(星)	23 体育教室(月・雪) みなとわくわく広場	24	25
27 絵画教室(月)	28 みなとわくわく広場	29	30 みなとわくわく広場	31	

## 健康な心と体

<幼児期の終わりまでに育ってほしい姿>

### ア. 健康な心と体

幼保連携型認定こども園における生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる

幼保連携型認定こども園教育・保育要領より

子どもたちは、自ら活動する内容を選択し、自分の思い通りに行動します。大人は、どうしてそういう行動に至ったかのプロセスに注視し、子どもの思いに寄り添った対応が必要になります。自分の思いに寄り添い、受け止められた経験が、健康な心を育てていきます。

子どもたちの生活する環境には、心と体を思い切り発散できる適切な環境と気持ちを落ち着かせることのできる環境が必要です。

自分の心の状況に応じて自分で適切な環境を選択することで健康な心と体を育みます。



午睡の後に保育者がスタイをつけている様子を見ていた子が友達につけてあげている様子です。



小さなたんぽぽ組さんが、気軽に日光浴できる環境を作っています。



変身ゾーンとままごとゾーンを近くにして変身をして、ままごとをしたり、想像力を膨らませてお友だちと関わって遊ぶ事ができるような環境を作っています。



近くの公園へお散歩に行ってお遊んでいる様子です。

年上の子が、年下の子の手をつないで歩いています。

天気の良い日のお散歩は気持ちがよくて、心も体も満たされます♪



空クラスの子どもたちは、セミバイキング方式で給食を頂きます。自分が食べる量を自分で選択することができ、強制されない環境の中で、友だちとの会話を楽しみながら頂きます。楽しい食事の中で、健康な心と体が育ちます。





令和の時代が始まりました。多くの子どもたちは新しい環境に慣れ、少しずつ自分のペースで園生活を楽しめるようになってきました。長い連休の後ですので、生活リズムを崩さないように注意してください。

## 水分補給

大人の体は7割近くが水分です。乳幼児はさらにその割合が増え、生まれたばかりの乳児だと、なんと8割近くになります。その分、失われる水分量も多く、こまめな水分補給が必要になります。

### Q & A

- いつ飲ませればよいの？  
起床時、就寝前、運動の前後、入浴前後など、汗をかく前と後に飲ませるのがよいでしょう。
- どのくらいの量がよい？  
一度に大量を与えるのは避け、コップ1杯程度の量をこまめに与えましょう。
- 何を飲ませればよい？  
病気にかかっていなければ白湯や麦茶などがよいでしょう。糖分の多いジュースや、消化に時間のかかる牛乳、硬度の高いミネラルウォーターは、水分補給という点ではあまり適しません。失われた電解質を補充する時は、経口補水液が役立ちます。

### 乳児への水分補給

首がしっかりと座って離乳食を始める準備ができるようになったら、スプーンを使って、白湯などを少しずつ与えてみましょう。



## 紫外線対策

一昔前は、太陽の光を浴びて日焼けをするのは健康によいとされてきましたが、現在では過度の紫外線を浴びると肌に悪影響を及ぼすことが認知されてきています。屋外で遊ぶ機会の多い子どもにもこそ、しっかりと紫外線対策を行いましょう。

### 日焼けの予防法

普段から帽子をかぶる習慣を付けたり、日差しの強い季節はUVクリームを塗ったり、UV加工を施した服を着用するなどの対策をしましょう。それでも日焼けをしてしまったら、冷やしたタオルなどで患部をしっかり冷やしましょう。

## 爪はきれいかな？



子どもたちは様々な物に触れるため、爪（つめ）の中に汚れが入ったり、伸びていると欠けたりしてしまいます。汚れが溜まると炎症を起こし、爪の病気になってしまうので、手洗いで落としきれない汚れは、お風呂できれいに落としてあげましょう。



また、爪が長いとどこかに引っかけてしまったり、お友達を傷付けてしまうことにもなりかねません。おうちでは定期的に切ってくださいるようにお願いいたします。

